



流風礼祭神社醉若水

総合誌

隠岐の島

おきのしま



OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 17,075(+77)人 男 8,111(+46)人 女 8,964(+31)人 世帯数 7,362(+76)戸
(平成18年5月1日現在、カッコ内は前月比)

● ジェット時代到来!

この夏、いよいよ ジェット時代到来!

新隠岐空港
2006年
7月6日開港



ジェット機の利用にご協力をお願いいたします!

今年7月6日、いよいよ新空港が開港し、ジェット機が就航します。8月いっぱいまでの期間限定就航ではありますが、快適で欠航がほとんどないジェット機で、空の旅を楽しむことができますようになりました。

そして、来年以降もジェット機が就航するかどうかは、今夏のジェット機の利用率にかかっています。隠岐空港整備利用促進協議会では、利用率70%を目標に、さまざまなイベント・キャンペーンを企画しております。島民の皆様には、島外のご家族・親戚・友人の方にジェット機のご利用をおすすめいただいたり、グループでのご旅行をこの期間に計画されるなど、ぜひ「一人一役」のご協力をお願いいたします。

—News— 決定!ジェット機と時刻表



～プロペラ機 (Q400) と比べると～

機体名	MD-81	Q400
全長	45.1m	32.8m
全幅	32.9m	28.4m
全高	9.0m	8.3m
巡航速度	815km/h	667km/h
標準座席数	163	74

ジェット機就航期間 (7月6日～8月31日) 時刻表

区間：隠岐空港 ⇄ 大阪 (伊丹) 空港 (約1時間)

大阪 (伊丹) ⇒ 隠岐				隠岐 ⇒ 大阪 (伊丹)				備考
JAL2331便	MD81	11:00発	12:00着	JAL2332便	MD81	12:45発	13:40着	7月6日 ～8月31日運航
JAC2333便	SF3	12:25発	13:35着	JAC2334便	SF3	14:00発	15:05着	8月11日 ～20日運航
JAC2335便	DH4	13:00発	14:00着	JAC2336便	DH4	14:25発	15:20着	7月1日 ～5日運航

＝ イベント・お得情報

2006年ジェット便就航記念特別ツアー

大阪より隠岐島3日間 (宿泊無プラン) が

22,000円
最小催行人員:20名様

出発日	7月	13、20、24、27、31日
	8月	3、7、17日

申込締め切り 出発日の20日前までにお申し込み下さい。

帰省・同窓会等に非常にお得なツアーです。宿泊ありプラン、オプションプランもありますので観光にもお得です。島外のご家族・親戚・友人の方に是非お知らせ下さい!

※詳細は下記までお問い合わせ下さい

主催：一畑トラベルサービス TEL:2-1971

協賛：隠岐空港整備利用促進協議会

“隠岐相撲祭” 開催!

6月1日から9月1日までの期間を“隠岐相撲祭”とし、7月8日・9日に行われる隠岐古典相撲を中心に、相撲に関する様々なイベントを行います。お楽しみに!

7月2日～	相撲博物展	隠岐海洋自然館
7月8・9日	隠岐古典相撲	新ターミナル東側公園内 特設土俵
7月22日	地域芸能祭	隠岐島文化会館
8月9日	子ども相撲隠岐大会	新ターミナル東側公園内 特設土俵
8月19・20日	相撲サミット	隠岐島文化会館
8月20日	隠岐ちゃん交流会	隠岐島文化会館
8月31日	甚句祭隠岐大会	隠岐島文化会館

【新空港・ジェット機に関するお問い合わせは】

隠岐空港整備利用促進協議会〔事務局〕 役場観光商工課
電話：2-8575 (直通) FAX：2-4997
電子メール：kankou@town.okinoshima.shimane.jp
ホームページ：http://www.town.okinoshima.shimane.jp/



舞がきまると、指導者や楽隊の人たちから思わず笑みがこぼれます。(舞台稽古の様子)

毎年4月21日に池田の隠岐国分寺で行われる「隠岐国分寺蓮華会舞」。平安時代に隠岐に伝来した宮廷舞楽の流れをくむ古典芸能で、1200年以上の歴史を持ち、国の無形民俗文化財に指定されています。

その格調高い優雅な舞いを見ようと毎年多くの見物客でにぎわうこの行事も、かつて存亡の危機にさらされたことがありました。明治初期に隠岐全島に広がった廃仏毀釈により、壮大さを誇った国分寺伽藍も消失し、蓮華会舞も舞うことができなくなってしまうのです。

そこで立ち上がったのが、地元である池田の人々でした。ここで廃れさせてはならないと、懸命の

努力により復活させ、以来今日まで受け継いできたのです。

去る4月20日(木)、蓮華会舞の前夜に国分寺本堂で行われた最終舞台稽古に、お邪魔しました。

”昔のままを伝える”
”妥協は一切しない”

夜8時、寺の本堂に提灯の火が灯り、舞い手、楽隊、かつて舞い手であった指導者の人たちが集まってきました。3月初めから毎週土曜日の夜、楽隊による演奏のもと、本番さながらの真剣な稽古が行われます。舞が始まると、全員が目が舞台に集中し、本堂の中の空気がピンと張りつめます。

”昔のままを伝える”
”妥協は一切しない”

「昔のままを伝える。そのためには一切の妥協はありません。いったん絶えていた蓮華会舞を復活させた先人たちの思いを常に心に置き、絶対に絶えさせてはならない」との思いで保存に取り組んでい



紐の結び方1つでも議論が交わされます



いつかは僕も・・・

ます。」そう語るのには、隠岐国分寺蓮華会舞保存会会長の村上秀男さん。舞に關しては、舞い手と指導者が納得するまでとことん議論し、夜遅くなることもしばしばだそうです。

隠岐国分寺住職で保存会事務局長の重栖眞快さんは、「島であるがゆえに残された貴重な伝統芸能を、島の宝」として伝承することが私たちの使命です。幸い、少子化の進む中でも自分の出番を心待ちにしている子供たちが大勢いることを心強く思っています。蓮華会舞を通して、子供からお年寄りまで心のふれあいが強く、地域の活力の源となっています。」と語っておられました。

この取材を通して、地域の人たちの類稀なる情熱が大きな力となって、この由緒ある行事を今に伝えていると実感しました。「いつかは自分も」と舞い手の動きを食い入るように見つめる子供たちの真剣な眼差しがそれを物語っていました。

未来につながる地域の伝統

隠岐国分寺蓮華会舞の舞台裏

隠岐の島 ニュース フラッシュ

天まで届け！
隠岐いぐり凧まつり



天まで届きそうなほど空高く揚がりました

遙か昔の山伏に学ぶ
布施の山伏マラニック

4月23日(日)、布施地区一円で、第一回布施の山伏マラニックが開催されました。
島内外から33名の挑戦者が、約35kmのコースをマイペースで走ったり、歩いたり、休んだりのマラニックで回り、健脚を披露しました。
高低差の激しい厳しいコース設定でしたが、見所も満載で感動もひとしおです。満足いただけただけなことでしょう。

次回開催をお楽しみに!!



厳しいコースに悪戦苦闘!!

鬼太郎と踊る
フェリー船上民謡ライブ



鬼太郎と一緒にしげさ節を踊りました



子どもの誕生祝いと無病息災を願う祝い凧

4月16日(日)、西郷中学校校庭で、隠岐いぐり凧まつりが開催されました。今年はいにくの悪天候により、一週間延期しての開催でしたが、当日は天候もよく、ほどよく風もあって、絶好の凧揚げ日和でした。
子供たちの誕生祝と、無病息災を願って祝い凧が揚げられ、気持ちよさそうに、元氣よく青空を泳いでいました。祝い凧に名前の載った子供たちにも元氣に育ってほしいものです。

4月29日(土)から5月13日(土)の二週間の奇数日に、西郷港に停泊している「フェリーしらしま」で、鬼太郎フェリーの就航を記念して、船上民謡ライブが開催されました。
隠岐民謡を見るだけでなく、鬼太郎と一緒に踊れたり、民謡の島をたっぷり満喫できる内容でした。
夜の海に浮かぶ妖怪の隠れ家は、観光客のみならず、島民にも、おもしろ体験となりました。

公民館コーナー

五箇公民館

「幸齢者ふるさと学園事業」がスタートしました!

五箇公民館で、「平成18年度幸齢者ふるさと学園事業」がスタートしました。第1回目は、春祭りに使っていたため「わらじづくり」で、西郷地区からの参加も含め、たくさんの方々に参加いただきました。
初めは難しそうでしたが、地域のベテラン指導者による手とり足とりの指導で、最後には全員がりっぱなわらじを作りあげ、講座は終了しました。

「幸齢者ふるさと学園事業」
この事業は、60才以上の方を対象に、その技能と知識、豊かな経験をもとに、ふるさとに息づくさまざまな事業について研修を深め、さらに豊かなシニアライフを送っていただき、また地域づくりに寄与していただくことを目的とした五箇公民館の事業です。

第1回目は「わらじづくり」でした。



(縄を足で引きながら)



(りっぱにできました!)

【お問い合わせ】
五箇公民館(五箇生涯学習センター)
電話5・9011

△お知らせ▽
今年度の幸齢者ふるさと学園事業は、次のように計画しています。実施時期に合わせて広報・放送等でお知らせしますので、奮ってご参加ください。
〔平成18年度幸齢者ふるさと学園事業〕

1. わらじづくり(終了)
2. 隠岐八十八箇所めぐり(5月)
3. 夫婦でできる介護法(6月)
4. 救急救命講習会(7月)
5. リサイクル講座(8月)
6. 島前史跡探訪(9月)
7. まちの企業見学(10月)
8. 人権同和問題研修会(11月)
9. 国際交流・料理編(12月)

西郷公民館

住民主体のまちづくりを目指して

平成18年度西郷地域まちづくり運動協議会総会が、4月25日隠岐島文化会館で、構成員65名が出席し開催されました。

開会に先立ち、まちづくりに貢献された方々へまちづくり運動協議会から功労者表彰が行なわれ、個人表彰として吉田運一さん(原田・環境美化の功労)、団体表彰ではサロン友愛会(大久・ボランティアの功労)がそれぞれ受賞されました。

次に、平成17年度の事業報告並びに収支決算又、18年度の事業計画・収支予算案が上程され承認されました。今年度の主な事業としては、ゴミ減量化の取組み・美化運動・アドベンチャー教室・子どもフェスティバル・町長との懇談会・まちづくりイベントなどを行なう予定となっております。



(今後ともよろしくお願いします)

中村地区 武良の「手づくり畑」

4月29日(土)、中村デイサービスセンターの横に突然できた畑が姿を現しました。これは、中村デイサービスセンターの皆さんが、手づくり野菜をデイサービスセンターに通所される方に食べてもらおうと作ったものです。午前8時30分には草刈機やスコップを手に地域の有志が集まり、わいわいと楽しみながらの作業となりました。必要な材料は地域の皆さんから提供していただき、力強い地域の



石拾いから始めました



「バンザイ」出来たぞ～

姿が見えたような気がしますが、作業は午前中には終了し、後は野菜の苗を植えるだけ、何が出来たのかはお楽しみとなりました。実際の野菜づくりでは、デイサービスセンターに通われる皆さんが講師となつて、一緒に作るのではないのでしょうか。そんな姿が想像できる、ぬくもりのある畑の誕生でした。

五箇地区 水若酢神社の風流神事で大賑わい



大勢で山を曳きます

5月3日(水)五箇地区で水若酢神社の大祭が行われました。当日は、天候にも恵まれ大勢の見物人や参拝者でにぎわいました。壮大な「山曳き」には健康やかな成長を祈って、ハチマキ・たすきにかわいい草鞋姿の男の子が参加し、盛んにカメラを向けられていました。女の子は稚児行列に参加し、さらびやかな装束で神幸行列がいつそう華



かわいらしい稚児行列

やいだものとなりました。はじめの「山曳き」は初山とよばれ、氏子はもとより出郷者、出氏子のこどももこの時は帰郷して参加します。また、祭り場では勇壮な「流鏝馬」や雅な「浦安の舞」「一番立て」「獅子舞」「大楽」と奉納され、1日中祭りにぎわいました。

布施地区 2年に1度の大山神社祭



りっぱな大櫓が見つかりました



もうフラフラです！

4月5日(水)、6日(木)の両日、布施地区南谷の大山神社において山祭りが行われました。この祭りの起源は定かではありませんが、元々は深山の魔神を鎮めるために始まったといわれており、4月の初丑の日に「帯締め神事」、その前日に「帯裁ち神事」が行われます。初日の「帯裁ち」では、カズラ伐り、大櫓まくりを行います。2日目の「帯締め」は、御神木にカズラを7巻き半巻きつけますが、こ

の時に、木遣り唄に合わせてカズラを前後に大きく揺さぶります。酒の酔いも手伝い、何回も振り飛ばされながらも必死でカズラを握り締め、神事を続けます。荒々しく勇壮で、祭りのクライマックスです。体力を使い果たすほど大変な祭りですが、お酒好きにはもってこいの祭りです。皆さんも参加してみませんか。

都万地区 奥津戸でサバイバル体験



竹飯ごうは作るのも炊くのも大変です



普段見ることのない海の生き物を前に大騒ぎ！

中でもこの火起こしは人気で、生徒たちはなんと火を起そうと息をはずませていましたが、残念ながら種火を作ることができなかったようです。他にもかなぎ漁やシーカヤック、バナナボートなど、都会っ子にとっては貴重な体験をしながら、歓声をあげて自然とのふれあいを楽しんでいました。

4月26日(水)から4月28日(金)までの3日間、大阪・池田中学校の生徒159名が、修学旅行で隠岐の島町を訪れました。26日夕方にレインボーで到着した生徒たちは、翌27日に奥津戸海水浴場へ。グループに分かれて、岩場で食材探しや釣り、ご飯を炊く竹飯ごう作りや、火起こし器を使ったまさつ熱での火起こしなどを体験しました。

隠岐の島町の教育推進にあたって

— ふるさとに心をつないで —

学校教育行政の方針

学校教育においては、「生きる力」の育成と「心の教育」の充実を基本とします。

また、ふるさと教育を推進するためには、ボランティア体験、自然体験、職場体験などさまざまな体験活動が活用できる体制整備を行います。特に本年度の重要な事業として「ふるさと教育副読本」を作成し、より積極的に郷土学習に取り組めるよう支援します。

教育環境の整備については、校舎や施設設備の整備を計画的に推進し、安全、安心な学校生活の実現に努めます。

【重点施策】

○教育内容の充実と指導方法の工夫

1. 学校の特色や地域の実態に即した教育課程の編成と実施
2. 児童生徒の一人ひとりに基礎基本の確実な定着を図る取組みの推進
3. 学力調査の実施
4. 人権を尊重する教育の推進
5. 情報教育の推進

○心身の健康を大切にされた教育の推進

1. 家庭教育の充実に向けた取組みの推進
2. 健康教育（学校保健、学校安全、食の教育）の推進
3. 体力・運動能力の向上の推進
4. 心の教育の推進

○子どもたちの学びを支える取組みの推進

1. いじめ、不登校への取組みの推進
2. 特別な支援が必要な子どもたちに対するきめ細やかな教育の推進
3. 学習の場の拡充に関する取組みの推進

○施設設備など教育環境の計画的整備

1. 校舎等の計画的整備と営繕
2. 一般備品及び教材備品の計画的な整備充実
3. 教育施設の統廃合の推進
4. 学校、学校給食センターの統廃合を推進するための作業チームの編成及び地区説明会の積極的な開催

社会教育行政の方針

行政と町民が一体となって、積極的な人材の活用と育成を図るとともに、主体的かつ自主的に学習するという理念に基づき、家庭や地域の教育機能の充実や、家庭・地域・学校等との連携・協力を図ります。

「いつでも、どこでも、だれでも」学習できるように学習環境を整え、その成果を適切に発揮できるような活力のある自主的、自立的な地域社会の実現をめざします。

【重点施策】

○生涯学習の推進

1. 生涯学習推進構想（生涯スポーツ推進構想含む）策定
2. 社会教育施設の基盤整備
3. 生涯にわたる学習活動・スポーツ活動の推進及び支援
4. 各種学習団体の育成及び支援

○地域の教育力の向上

1. ふるさと教育の推進
2. 学社連携・融合の推進と支援
3. 地域講師やボランティアの活用及び育成支援
4. 家庭教育・青少年教育の充実
5. 家庭の教育力向上のための教室・講座等の開催
6. 青少年の体験活動の実施及び支援
7. 関係団体等のネットワーク化の推進及び支援

○文化活動の振興

1. 文化財保存活用の推進
 2. 読書活動の推進
 3. 文化、芸術活動の推進
 4. 国際文化交流事業の推進及び支援
- 人権・同和教育の推進
1. 人権・同和教育研修会等の開催及び支援
 2. 人権・同和教育の教育基本構想の策定
 3. 人権・同和教育関係組織の体制づくり

六月は男女共同参画月間

6月23日～29日の「男女共同参画週間」を受け、6月は男女共同参画推進月間となっております。本年度は、「参画で職場に活気」

家庭にゆとり

という標語のもと、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事の実施、ポスター・チラシの作成配布及びテレビ、ラジオ、インターネット等のメディアを利用したキャンペーン等、広報啓発活動が実施されます。（隠岐の島町においては、3月に、島根女性センター理事長下森華子氏を招いて「男女共同参画講演会&座談会」が開催されました。）

この月間を機会に、男女共同参画について考えてみませんか。



隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2206
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

～ こんにちは隠岐 ～

隠岐の島町の皆様、こんにちは！（你好！ニーハオ）

私は、中国河北省から国際交流員として来ました 曹建紅（ツァオ ジェンホン）といます。私はバドミントン、バスケットボール、山登りなどのスポーツをはじめ、漫画、小説を読むことが大好きです。

隠岐の島に来る前は、不安と期待で胸がいっぱいでしたが、満開の桜の花とみなさんの温かい笑顔に接し安心しました。

中国の国際化に伴い、日本の人々との意志の疎通や互いの文化を学ぶためにも、コミュニケーションの力が大切だと考えます。これから一年間、「中国語講座」、「中華料理講座」また「親睦会」などいろいろな形を通して、中国の歴史、食文化を理解してもらえるように全力で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



国際交流員 曹建紅

町の元気印 第2回 近藤ひとみさん

今回は、港町の誇るウルトラランナー 近藤ひとみさん（港町）をご紹介します。スリムなボディーと美貌からはとても想像できないが、実は4児のお母さん。昨年開催された「隠岐の島ウルトラマラソン」では見事100km完走。そして先日開催された「布施の山伏マラニック」の難コースも軽くクリアー。

元々、高校時代から長距離走は得意だった彼女だが、仕事と子育てで運動からは遠ざかっていた。

しかし子育ても落ち着いた頃から始めたエアロビクスがきっかけで、ジョギングを楽しむようになったとのこと。過酷だった「隠岐の島ウルトラマラソン」の数々の思い出と感動のゴールシーンのお話を熱く語ってくれた彼女の将来の目標は「ハワイ ホノルルマラソン出場」。

最後に近藤さんからのメッセージ「努力は必ず実になる」
ありがとう近藤さん。がんばれママさんランナー！



6月1日は、人権擁護委員の日です。

人権擁護委員制度をご存知ですか。

6月1日は、人権擁護委員法が執行された日です。昭和23年まず政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌24年6月1日に人権擁護委員法が施行されました。

法務省の人権擁護機関では、日常生活において人権への配慮がその態度や行動に現れるような人権意識を高くすることができるようにとの願いを込め、啓発活動重点目標を「育てよう一人一人の人権意識 — 思いやりの心・かけがえのない命を大切に — 」と定め、積極的な啓発活動を展開しています。

6月1日と8日「人権擁護委員の日」として特設相談所を開設します。詳細は本誌15ページの行事予定表をご覧ください。



『土砂災害警戒情報』を発表します

- 本年6月から、島根県と松江地方気象台が共同で、土砂災害発生のおそれを予測して、市町村単位毎に土砂災害情報を発表します。
- テレビやラジオを通じ、また市町村からも皆さんにお知らせします。
- 土砂災害から「ご家族やあなたの生命」を守るため、がけ崩れなどの土砂災害危険箇所周辺にお住まいの方は、「早めの避難」の判断の目安として活用してください。
- 避難勧告などが出ていなくても、「早めの避難」を心がけてください。

※土砂災害警戒情報は、確実に土砂災害が起こることを前提として発表するものではありません。早めの自主避難の結果、何も起こらなかったことがあります。

しかし、何か起こってからでは遅いのです。隣近所が避難していないから「大丈夫」ではなく、隣近所、声をかけあって早めに自主避難しましょう。

- 県のホームページでは、より詳細な情報として、危険度（レベル）をメッシュ情報で公開しています。
 - また、メッシュ情報は携帯電話からも見ることができます。
- 土砂災害危険度情報ホームページ（6月開設）
「島根県ホームページ」→「防災情報」→「土砂災害危険度情報」
http://www.pref.shimane.jp/section/sabo_uryo/keikai/
(携帯電話版)
http://www.pref.shimane.jp/section/sabo_uryo/keikai/i/



5月15日、町道蛸木線で起こった土砂崩れ

● お問い合わせ先

島根県土木部砂防課 TEL0852-22-6261
〒690-8501 松江市殿町1番地

松江地方気象台 TEL0852-22-3784
〒690-0017 松江市西津田7-1-11

自衛隊島根地方連絡部 隠岐の島駐在員事務所が開設

5月11日、自衛隊の駐在員事務所が開設され、隠岐汽船上屋2階で開所式が行われました。
この事務所は隠岐汽船上屋の3階に開設されており（写真左下）、自衛官が常駐して自衛隊の任務の広報活動や新規隊員の募集事務などを行います。
駐在員事務所長の出川芳明一等陸尉（写真右下）は「自衛隊の任務を紹介するビデオなども用意しておりますので、お気軽にお越しいただき、皆さんに自衛隊のことを知っていただきたいと思います」と話してくださいました。
自衛隊の活動に興味がある方は、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



「交通事故相談所」をご利用ください

交通事故での損害賠償、保険の手続きや示談の進め方などでお困りの方に無料で相談に応じます。また事故にあった本人のほか家族、雇主、知人などなたでも相談できます。年4回（3・6・9・12月のそれぞれ2日間）開催されていますので、お気軽にご利用下さい。

開催日時 6月8日（木）13:00～16:00
6月9日（金）9:00～12:00
開設場所 隠岐の島町役場第二会議室
相談者 専門の交通事故相談員（無料）
相談内容 損害賠償請求、損害賠償の算定、示談の進め方、自動車損害賠償保険の請求、治療と労災保険・社会保険の利用 など

お問い合わせ
役場総務課消防防災係 電話 2-2111

思いやる 心ひとつで 事故はゼロ

平成18年の交通安全スローガンです。スピードを出しすぎない、狭い道で譲り合うなど、「思いやり」を持った運転を心がけましょう。

地域に活力を！

自治総合センター
助成事業

このたび隠岐の島町では、財団法人「自治総合センター」の助成を受け、今津地区に「神楽衣装等購入」、朝日ヶ丘地区に「朝日ヶ丘集会所調理室等整備」、大久地区に「屋外放送設備」、西田地区に「西田会館多目的広場整備」、有木地区に「駐輪場等設置」、天神町地区に「防犯灯設置」、都万目地区に「公衆トイレ設置」、上八尾地区に「常設相撲場設置」、蔵田地区に「集会所等整備」、武良地区に「中村川緑化整備」、「自主防災整備」を行いました。

この事業は、宝くじの普及広報事業として町が受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティの健全な発展を図るため、コミュニティ組織等が実施する施設や設備に対して補助を行うものです。

また、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指しています。

今後、各地区では地域の活性化を図り、活力ある地域づくりを目指します。



今津地区：神楽衣装等



蔵田地区：集会所等整備

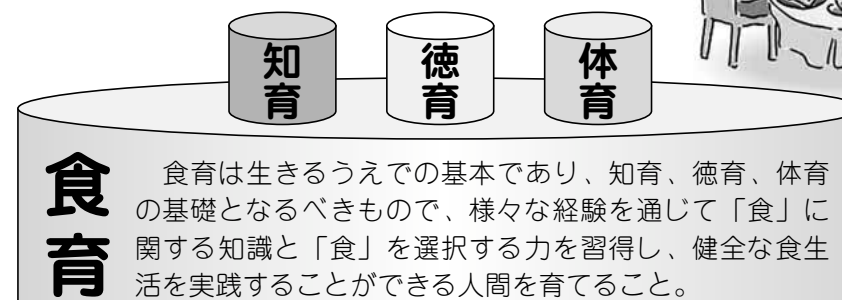


食育推進基本計画では、6月を食育月間として食育推進運動を重点的に進めることにしています。今年の6月が最初の食育月間です。はじめての食育月間のテーマは、

みんなで 毎日 朝ごはん

毎月19日は食育の日

また、毎月19日を「食育の日」として定め、食育運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図ることとしています。



内閣府食育推進ホームページアドレス <http://www8.cao.go.jp/syokuiku/index.html>
島根農政事務所ホームページアドレス <http://www.shimane.info.maff.go.jp/>

4月からスタートしました

こんにちは！地域包括支援センターです



地域包括支援センターは、高齢のみなさんが住みなれた地域でいきいきと生活できるよう、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的にお手伝いするために設けられました。介護の悩み、介護予防、保健福祉サービスについてなど、専門スタッフが相談に応じます。お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターではこんな仕事をしています

◆自立して生活できるよう支援します ～ 介護予防ケアマネジメント業務

- 要支援1・2と認定された人は、介護保険の介護予防サービスを利用できます。
- 支援や介護が必要となるおそれの高い人や、自立した生活をしている人などは、介護予防事業を利用できます。

◆みなさんの安心な暮らしを守ります ～ 権利擁護業務

- 高齢のみなさんが安心していきいきと暮らすために、みなさんの持つさまざまな権利を守ります。成年後見制度の紹介や、虐待を早期に発見したり、消費者被害などに対応します。



◆なんでもご相談ください ～ 総合相談支援業務

- 高齢のみなさんや、その他の家族、近隣に暮らす方の介護に関する悩みや問題に対応します。介護に関する相談や心配ごと、悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、なんでもご相談ください。

「どこに相談するのかわからない」といった悩みも、まずはご相談ください。

◆さまざまな方面からみなさんを支えます ～ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- みなさんを支える地域のケアマネジャーの指導や支援のほか、高齢のみなさんにとって暮らしやすい地域にするため、さまざまな機関とのネットワーク作りにも力を入れます。

◆この他にも地域の実情に合わせて支援をします

地域包括支援センターのスタッフ

看護師・保健師・ケアマネジャー・事務担当者・管理栄養士が互いに連携をとりあって「チーム」として総合的にみなさんを支えます

●相談に関する費用は無料です

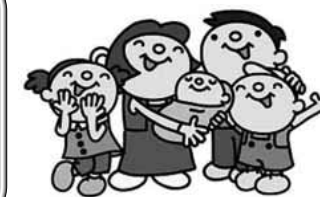
●相談時間は、月曜～金曜日 8時30分～17時(祝日を除く)です

お問い合わせ先

隠岐の島町地域包括支援センター	隠岐の島町役場高齢者福祉課	2-8562
同センター布施支所	隠岐の島町役場布施支所	7-4311
同センター五箇支所	隠岐の島町役場五箇支所	5-2211
同センター都万支所	隠岐の島町役場都万支所	6-3570

しまね子育て応援パスポート

こっころ Coccolo 7月スタート!



●子育て応援パスポートCoccolo (こっころ) の交付

県と県内市町村は、今年度から、子育てを温かく応援する地域づくりを進めるため、(島根の未来を担う子どもたちの健やかな成長を、行政・企業・地域等、県全体で応援する気運の醸成を図るため) 子育て家庭を対象に、店舗などで子育て支援サービスが受けられる「しまね子育て応援パスポート事業」を開始します。

愛称は、「Coccolo (こっころ)」。イタリア語で「かわいい子ども」の意味です。

- 対象家庭 : 妊娠中の方及び満18歳未満の子ども(満18歳となった最初の3月31日を迎えるまでの者を含む)のいる家庭
- 申請及び交付開始予定 : 平成18年7月3日(月)～(即日交付)
- 申請方法及び交付場所 : 役場子育て支援課または各支所・出張所へ直接お越し下さい
- 問い合わせ先 : 役場子育て支援課 電話2-8577

●協賛店舗募集!

現在、Coccoloに協賛していただける店舗を募集しています。

- 募集内容 : 子育て家庭に対し、独自の子育て支援サービスを提供していただける店舗
- サービスの内容例 : 商品の割引、景品、子育て情報の提供、職業体験など、その店舗ならではの創意工夫したサービス
- 募集期間 : 第2次募集平成18年7月1日～
- 問い合わせ先 : 島根県少子化対策推進室 TEL: 0852-22-6475



住宅火災警報器等の設置について

平成16年の消防法改正に伴い、隠岐でも隠岐広域連合火災予防条例が改正され、新築の住宅は平成18年6月1日から、既存住宅においては平成23年6月1日からすべての住宅に火災警報器の設置及び維持が義務づけられました。

皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、悪徳商法などが発生する恐れがありますのでご注意くださいようお願いいたします。

■なぜ設置するの?

住宅火災による死者数が急増しています。死者の半数は高齢者で、死に至った原因の7割は逃げ遅れです。

火災の早期発見及び早期避難をするために、火災警報器の設置が義務づけられました。

■どこに設置するの?

寝室・・・就寝に使用する部屋の天井又は壁面に設置します。

階段・・・就寝に使用する部屋のある階の階段の踊場の天井又は壁面に設置します。

(ただし、避難階(1階など容易に避難の出来る階)の階段は除く)



■お問い合わせ先

隠岐広域連合消防本部 予防課 電話08512-2-2299

満開

五箇地区の村上家隠岐しゃくなげ園に咲くオキシヤクナゲです。今年気温が低く、例年より1週間ほど開花が遅れたようですが、時期には白やピンクの美しい花を見事に咲かせてくれました。



ふるさと芸能交流、 隠岐しげさ節全国大会開催

5月13日(土)と14日(日)の両日、恒例の島まつりが行われました。

残念ながら今年はいげさ踊りパレードが雨で中止となったため、13日はふるさと芸能交流だけが会場を町立武道館に移して開催されました。雨が降っているにも関わらず大勢の人で満員状態となり、島内外の各団体が民謡や踊りなどの郷土芸能を披露しました。

14日は第21回隠岐しげさ節全国大会が開催され、三味線の部と唄の部で、それぞれ初級・中級・上級のクラス別に、「しげさ節日本一」が争われました。また、子供大会も同時に行われ、隠岐民謡の未来を担う子供たちの懸命な姿に、会場からは大きな拍手が送られました。



町立武道館で行われたふるさと芸能交流

1・月・1・話 夏河を越すうれしさよ 手に草履

江戸中期の俳人、与謝蕪村の句です。夏の太陽の下、故郷のきれいな川の流れるの中をはだして渡ると、楽しかった子供の頃を思い出しうれしくなってしまう——川の姿が数十年で変わるといことがなかった江戸時代では当たり前のことだったのでしようが、現代の私たちから見ると違う感想を持つてしまいます。

先日、役場の倉庫から昭和30年代の作品と思われる「隠岐島」という島の記録映画が見つかり、試写してみました。西郷港周辺などは様子がまったく違って、その変わりように驚きましたが、トカゲ岩や玉若酢命神社は今とほぼ同じ姿を残していました。

隠岐の島でも変わったこと、変わらないことが色々ありますが、まだたくさん残っているはずの「夏河を越すうれしさ」のようなものはいつまでも変わらないでほしいと思います。

(安)

総合誌隠岐の島6月号

(通算第20号)

編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係
〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL(08512)2-2111 (代表)

FAX(08512)2-6005

ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp